

2025 年度

二チイキッズ六郷保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月9日（金）～2月6日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月25日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念の「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」に則り、子ども一人ひとりの気持ちを受け止め、保育士自身が子どもたちと一緒にあそびに参加し共に経験・体験する中で感じる自らの思い・表現する子どもたちに共感することができた。
子どもの発達援助	各年齢に合わせた発達段階を基本に、子ども一人ひとりの成長を理解し個々に合った配慮や子ども自らが安心してあそびや生活ができる環境設定を行った。毎月1回職員会を実施しスタッフ間で援助の方向性や関わり方などの周知・共有を図った。
保護者に対する支援	保護者の方に子どもたちの普段の様子を連絡帳や保育室前に分かりやすく写真を掲示し発信した。また、懇談会では個別に子育てに関する話し合いの場も設けたり、参観ではあそびを通して保護者間同士の繋がりが持てるよう活動を計画し実施した。
保育を支える組織的基盤	スタッフ全員が同じ視点・同じ意識をもって保育の取り組みができるよう、社内外の研修や園内研修に積極的に参加した。子どもの成長を見通しながら、継続的に取り組んでいくことで専門性を高める。

総評
<p>2025年度初めに行事の内容や由来・意味など考えてクラス内で楽しめるもの、園全体で取り組むものに分ける等行事の見直しを行い「子ども主体」の活動を園全体で意識して取り組んだが、まだ定着しきれていない箇所もある為引き続き考えていきたい。また、今年度は就学までの子どもの育ちの課題や保育内容について小学校教諭、校長先生と話し合う連携会を開催し地域との連携を感じることができた。</p> <p>次年度の課題として「保育の振り返り」の必要性を重視し、毎月1回の検討会にて実施していくことで子どもの「育ち」のための豊かな経験を十分に持つことができたかを考え、園全体の保育の質の向上を目指したい。</p>